



令和4年12月20日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第29号

「性(LGBTQ)について学ぼう」

～誰もが自分らしさを表現できる世界の実現～

中学校では、保健体育の授業や学級活動において、次のような「性」に関する内容を学習するように定められています。

保健体育科

- ・思春期の成熟に伴う心と身体の変化
- ・様々な性感染症の理解やその予防
- ・妊娠や出産、身体の機能の成熟
- ・異性の尊重や情報への適切な対応及び行動の選択

学級活動

- ・自他の個性の理解と尊重
- ・よりよい人間関係の形成
- ・男女相互の理解と協力
- ・思春期の不安や悩みの解決
- ・性的な発達への対応
- ・心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

このように「性」について学習することは、「生」について学習することでもあり、本校では「性・生」に関する学習に積極的に取り組んでいます。

12月13日(火)には、市民グループ「ここいろhiroshima」の當山 敦己 様と、高畑 桜 様に来校していただき、「性(LGBTQ)について学ぼう」をテーマに学習しました。

10月8日の中国新聞でも、「市民グループ「ここいろhiroshima」LGBTQの子 支援5年目」という記事で紹介されており、誰もが自分らしさを表現できる世界の実現を目指して活動されています。授業では、お二人の幼少期から小・中・高校時代、そして、大学から現在までのライフストーリーを話していただきました。悩んでいた当時の思いや葛藤、現在考えていることや生きていく上で大切にしてほしいことなどを真剣に語られて、生徒のみなさんは大変真剣に聞いていました。ニュースなどで「LGBTQ」について知っている生徒も多くいますが、お二人の明るく楽しい語りでありながらも、熱いメッセージを送っていただき、私たちは「性」だけでなく、これからどのように生きていくのかについて深く考えることができました。誰もが大切にされる世界を目指すためのきっかけや出会いになったと思います。



生徒の感想から（抜粋）

- ・ありのままの自分を認め、本音を大切に生きていきたいと思いました。人と違う部分を否定せず、人と違う部分こそ魅力ということをお忘れず大人になって生かしたいです。
- ・話を聞く前は「普通」とは「自分らしさ」の意味が分からなかったけれど、話を聞くうちに「普通」は一人一人違うもので、自分の「普通」と感じるものを相手に押しつけてはいけないなと思いました。「自分らしく生きる」ためには、自分の本音を言うことが大切だということが分かりました。言えなかった本音を言葉に出すことで、できる仲間もいるし、受け入れてくれる仲間もいる。大切なことに気付けたので、本当によかったです。
- ・「自分の本音を大事にして生きる」「どの本音もあなたの一部」ということが心に残ったし、お二人のように友達に相談して、自分の気持ちを伝えて、友達に自分の気持ちを分かかってほしいなと思いました。そして、自分が本当にしたいことを見つけて、それをしてみたいです。
- ・なかなか自分の思いを伝えることは難しいけれど、難しいからこそ自分の思いを見失わないようにし、頼ってることが大事なんだと思いました。特に、「違う」部分もあなたのお大切な一部、今いる場所が全てじゃない、必ず味方はいる。ということをお忘れずに、これからの人生を過ごしていきたいです。

薬物乱用防止教室を行いました

～学校薬剤師 竹内 ひとみ 様をお迎えして～

12月15日（木）6校時、全学年対象に薬物乱用防止教室を行いました。薬物乱用防止教室は、中学校や高等学校では毎年1回行うことが義務付けられており、大変重要な授業です。毎年、講師には、学校薬剤師であるオレンジ薬局 竹内 ひとみ先生をお迎えしております。違法薬物だけでなく、アルコールやたばこ、風邪薬など過剰に摂取すると心身に影



響を及ぼす薬物も含めて、詳しく説明していただきました。また、心身にどのような影響を及ぼすか、また、もし違法な薬物を勧められたときの正しい対応などをDVDも視聴しながら教えていただきました。

違法な薬物に手を出すことは絶対にいけません、身のまわりはたくさんの種類の薬があります。薬に関する正しい知識を身に付け、正しく使用することが必要です。今後、自分自身を守るためにも、薬物乱用を他人事と考えるのではなく、将来自分にも関係するかもしれないという当事者意識をもち、今回の学習をお忘れないうちにしたいと思います。

竹内先生には毎年授業をしていただき、誠にありがとうございます。

生徒の感想から（抜粋）

- ・薬物というものは使い方を少し間違えるだけで、危険になることが分かった。
- ・意外と身近なところに薬があると感じました。
- ・私には関係ないと思っても、身近にあるものなので、怪しい誘いがきてもしっかり断れるようにしたいと思いました。
- ・薬をもらったら決められた用法・用量を守って服用したいと思いました。また、友達などに薬物をすすめられたら、絶対に断ってやらないようにしたいと思います。
- ・薬物をすすめて来る人は、怖い人ではなく、身近な人から来ることが分かった。
- ・「薬物乱用」は、何度も使用したらではなく、1回でも乱用ということが分かりました。もし、薬物（コカイン）の使用を誘われたら、きちんと断るようにしていきたいです。